

現在申請受付中！

南国市営業時間短縮要請協力金(第2期)



2月10日付で高知県より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため県内の飲食店等に対し営業時間短縮要請がありました。それに伴い、高知県より「高知県営業時間短縮要請協力金(第2期まん延防止)」が協力事業者に対し支給されることとなります。

南国市では、高知県の協力金の支給を受けた事業者の皆様に対し、「南国市営業時間短縮要請協力金(第2期)」(高知県の協力金への上乗せ分最大23万円)を支給します。



- ・受付期限: 令和4年7月29日(金)まで(当日消印有効)
- ・受付方法: 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、原則郵送での受付によります。
(商工観光課窓口での受付も可能です。)
- ・必要書類: ①申請書(申請書別紙含む)
②誓約書
③高知県営業時間短縮要請協力金(第2期まん延防止) 支給決定通知書の写し
④振込先口座の確認ができる通帳の写し
⑤本人確認書類の写し(個人事業主のみ)
※①②は、商工観光課の窓口か、市のホームページから入手できます。
その他、対象事業者など詳しくは市のホームページをご確認ください。



市ホームページ

■問い合わせ／商工観光課 商工観光係 ☎880-6560

マスク生活になってかれこれ二年。最初はマスク着用が少なからず抵抗があったが、今では着用して当たり前。何か大きな忘れものをしてしまった気持になる。実際、着用せずには外出しにくい社会になってしまった。

マスク着用を始めた頃、皆が、自粛・自宅待機・テレワークに真剣に向き合った。それからしばらくして、私の職場の小さな子どもたちの様子が気になった。食事の「食べ」がよくないね、おしゃべりが遅い気がするね、と職員同士で話し合った。

赤ちゃんは大人の口をじっと見て「もぐもぐ」と一緒に口を動かし、食べることを覚える。「おいしいねえ」とにつこり笑うと、一緒に笑う。大人の表情を見て、込められた感情と言葉を覚えていくのだ。マスク越しではそれが難しかった。

その後、マスクをめぐっては、お年寄りや耳の聴こえにくい方などからの「誰か」「何と」話しているのかわからない、といった声や、障害や病気でどうしてもマスクを着けることのできない方たちからの SOS も聞えてきた。マスク着用が出来ない人への理解が求められる一方で、職業柄や家庭環境などでマスク着用が必要不可欠となっている方々がいるのも事実である。他人への思いやりに欠け

はじめての時代

た、自分の主張こそ正義であることを振りかざした SNS でのやり取りに心を痛めた。

何が正解なんだろう。いや、そもそも正解なんてあるのだろうか。

誰も経験したことのない「今」は、世界中の全員にとって初めてのことなのだ。疑心暗鬼になり、心の余裕を失くして言い争っている場合ではないのではないかとつぶやいてみる。

ここ数年、テレビやDVDに手話通訳や字幕がつき、読唇術を学ぶ人が増え、コミュニケーションをとれるようさまざまな工夫がなされてきたが、このコロナ禍、マスク生活でさらに不自由な思いをしている人のために、何より自分たちのために、きつと私たちはまた、新しい工夫をしながら生きていくだろう。

とりあえず、私は、目元だけでも感情が伝えられるよう、表情をもっと豊かに。マスク越しでも伝わるよう身振り手振りを大きく。そして、気持ち相手にきちんと伝わるような言葉を使って、この時代を生きていく。

マスクをせず、大きな声で笑いあえる日が来るまで。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880・6569

不安
疑問



子ども(5歳~11歳)への 新型コロナワクチン接種の



Q&A

不安や疑問を先生に聞いてみました！

高知県感染症対策協議会会長で、土佐希望の家医療福祉センター長である吉川清志 先生に5歳~11歳の小児接種についてお話を伺いました。

きっかわ きよし

小児科医 吉川 清志 先生



Q. 5歳~11歳の小児接種のワクチンとは？

A. 5歳から11歳の子どもの接種できるワクチンはファイザー社製で、投与される有効成分量は成人用の3分の1です。12歳以上は1回0.3mlを接種しますが、5歳~11歳の方には1回0.2mlを3週間の間隔を開けて2回接種します。大人と同様に上腕に筋肉注射します。

Q. 有効性と安全性は？

A. 海外での臨床試験によると、従来株に対しては2回目の接種後7日以降に、90.7%の発症予防効果があると報告されています。オミクロン株への有効性データは十分ではありません。

副反応のほとんどが軽度・中等度であり、数日以内に回復しています。ワクチンの成り立ちを考えると長期的な影響は起こりにくいと考えられ、安全性に大きな懸念はないと判断されています。

Q. 副反応が心配です。

A. 米国では、昨年11月3日から12月19日にかけて、この年齢の小児に約870万回接種され、局所反応や発熱などの全身反応が報告されています。

これとは別に米予防接種安全性監視システムには4,229件の副反応疑い報告があり、「重篤」は100件(2.4%)で、そのうち29件が発熱、11件の心筋炎は全員が回復しています。

Q. 基礎疾患のあるお子さんへの接種について

A. 基礎疾患のあるお子さんにつきましては、感染した時に重症化するリスクがありますので、接種されることをお勧めします。

Q. 健康なお子さんへの接種についてはどう考えられますか？

A. 「子どもは重症化しないから副反応を考えれば接種しなくてもいいのでは」という意見も多いと思います。確かに子どもの大多数は無症状か軽症ですが、今後子どもの感染者が増加すれば中等症・重症例が増える可能性があります。心筋炎は、12歳以上ではワクチンの副反応よりも感染した際の頻度が高いと報告されています。感染時の行動制限が小児に与える影響が大きくなっていること、インフルエンザのような治療薬がない現時点では、私自身は接種するメリットの方がデメリットをやや上回っていると考えています。

Q. 保護者の方へ

A. コロナにかかった際の問題点と、ワクチンで起こる副反応を冷静に評価してください。保護者の方には、重症化リスクのある高齢者・2歳未満の小さいお子さん・基礎疾患のある家族が周りにいるなど、個々の生活状況を考慮していただき、接種するかどうかを判断してください。お子さんに接種を行う際は、発症予防等のメリットと副反応等のデメリットを保護者と本人が十分理解し、接種前後もお子さんに寄り添いきめ細やかな対応をすることが大切です。

保健福祉センターからのお知らせ

対象となる5歳から11歳の方の接種券をお送りしています(7学年2,679人)。
接種を希望される場合は予約をお願いします。接種会場はJA高知病院で、毎週日曜日に個別接種を行っています。
なお、他の予防接種との間隔を2週間以上あける必要がありますのでご注意ください。
※ワクチンの接種は強制ではありません。国の予防接種法の特例臨時接種に位置づけられていますが、5歳以上11歳以下のお子さんのワクチン接種は努力義務の規定を適用しないこととしています。

■相談窓口／
・ワクチン接種に関する相談 ☎863-5523(平日9時~16時)
・新型コロナウイルス感染症に関する相談 ☎864-1832(平日8時30分~17時15分)

